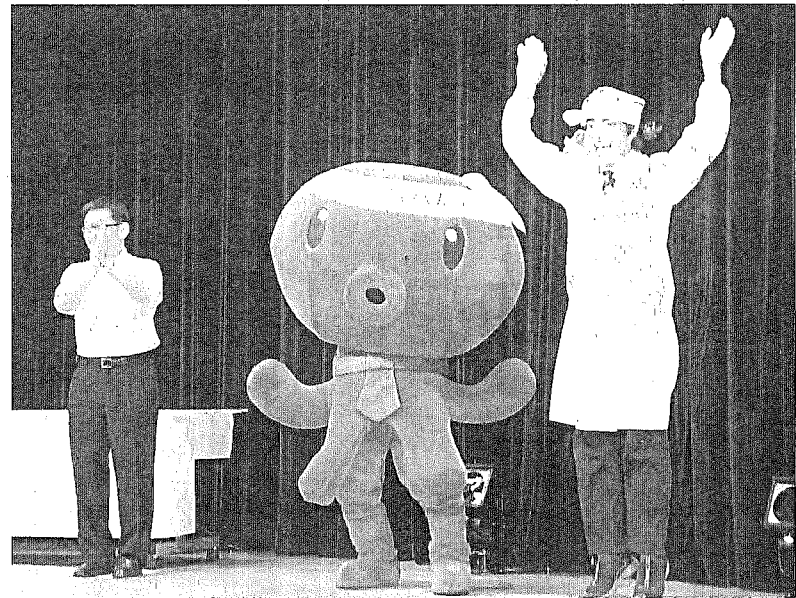


明石・三木

「ギョギョ」っと魅力発信



「明石たこ大使」の任命式で会場を盛り上げる「さかなクン」(右)
＝明石市東仲ノ町の市生涯学習センター子午線ホールで

任命式に子どももら250人

明石たこ大使の「さかなクン」

7月に明石市の「明石たこ大使」に就任した、東京海洋大客員准教授の「さかなクン」の任命式が9日、明石市東仲ノ町の市生涯学習センター子午線ホールで開かれた。子どもたち約250人も参加し、明石をPRする大使の就任を祝った。

魚についての豊かな知識を持ち、テレビ番組などで活躍するさかなクンは、タコへの関心も高い。今年3月に

広報紙で対談した泉房穂市長が「さかなクンほど明石のタコを愛してくれる人はいない」と、大使就任を依頼したところ快諾し、7月1日付で明石たこ大使となった。

式では、泉市長が委嘱状とともに名刺、記念品の「明石焼食べ放題券」を贈った。さかなクンは「明石のタコと明石の魅力を、感動が新鮮なうちに、全国の皆さんに『ギョギョ』っと報告したい」と得

意のフレーズを織り交ぜながらあいさつ。さかなクンによるお魚教室もあり、イラストを描きながらクイズ形式などで海の生物についてユーモアたっぷりの解説をし、会場の子どもたちから歓声が上がっていた。

さかなクンは今後、広報紙やホームページ、イベントなどで情報発信に協力し、「たこのまち明石」を盛り上げる。

【駒崎秀樹】